

令和2年度

三豊市ふるさと納税のご報告

～たくさんのおたたかいご支援
ありがとうございます～

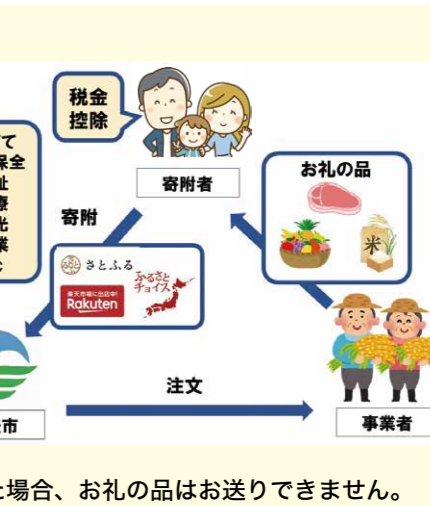
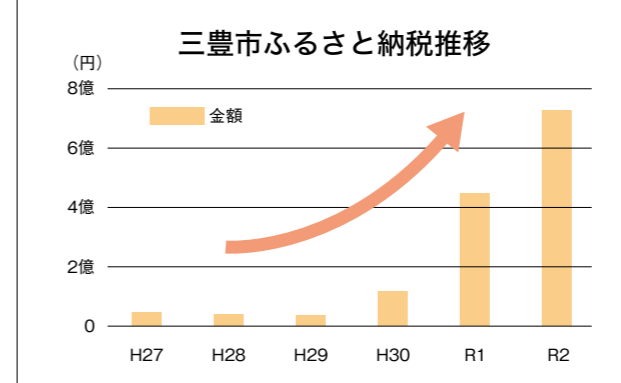
新聞やテレビなどのニュースでもよく話題になるふるさと納税ですが、令和2年度も北海道から沖縄まで、全国各地から市へおたたかいご支援をいただきました。集まったお金はどのくらい？どのように使われているの？など、市のふるさと納税についてご紹介します。

令和2年度の 実績や使い道は？

市では、平成27年度からインターネット上で寄付の受け付けを開始しました。クレジット決済を可能にし、手続きの利便性が向上したことや、平成30年度から寄付窓口を増やし、お礼の品の充実を図ったことで、より多くの人にふるさと納税を注目していただけるようになりました。

令和2年度は、前年度を大きく上回る、およそ3万6千件、7億6千万円を超える寄付を全国の皆さんからいただきました。寄付の使い道としては、主に「ふるさと納税の教育・子育て支援等に関する事業」に対し9,585件、「ふるさと納税の自然環境保全に関する事業」に対し3,331件、「ふるさと納税の事業（その他市長が必要と認める事業）」に21,666件など合計で6つの事業の中から使い道を選んで寄付をしていただきました。

禍の中、少しでも子どもたちが笑顔で過ごせるよう役立ててくださる（埼玉県在住者）、「家族のふるさとです。自然豊かな環境がいつまでも続きますように（大阪府在住者）」などの声をいただきました。



ふるさと納税とは

ふるさと納税制度は「生まれ育ったふるさとに貢献したい」「旅行で訪れたことがある自治体を応援したい」など、自治体を選んで寄付をすることができる制度です。「納税」という言葉がついていますが、実際には自治体への「寄付」です。寄付をする際に、使い道を選択できるため、応援したい気持ちを自治体の事業という形につなげることができます。

ふるさと納税で寄付をすると寄付金額の一部が所得税や住民税から控除されます。また寄付先の自治体からお礼の品が届きます。

※総務省の基準により、三豊市にお住まいの人が三豊市に寄付をした場合、お礼の品はお送りできません。

寄付の使い道

寄付金は、こんな事業に使われます！

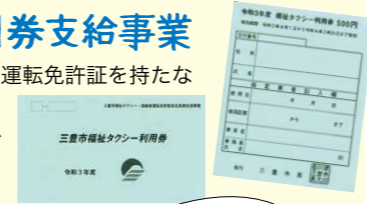
保育所給食事業

保育所で給食を提供するために要した費用を支援しています。



福祉タクシー利用券支給事業

令和2年度は、70歳以上で運転免許証を持たない高齢者の交通手段の確保と経済的負担の軽減を図るため、福祉タクシー利用券を支給しました。



学習 ICT 整備事業

学習ICT（情報通信技術）整備による教育環境を充実するため、市内の小中学校に、児童生徒用のタブレットパソコンや電子黒板を購入しています。

また、Wi-fi環境を整備し、オンライン授業などのリモート環境の構築や個別最適な学びの実現のため、AIドリル教材の導入などを行っています。

子育て応援サービス券支給事業

仕事と育児の両立支援など子育てをサポートするために、子育てホームヘルプ事業、ファミリーサポート・センター事業や乳幼児一時預かり事業の利用に使える「子育て応援サービス券3万円」を3歳までの子どもの保護者に支給しています。



▲一時預かり事業を利用しているママ
三野町 宮花美希さん

通院や用事がある時に利用して、とても助かっています。できることが増えたり、子どもの成長の変化が感じられるのありがとうございます。

市外のお知り合いにぜひ おすすめしてください！



人気の厳選フルーツ
プレミアム定期便 (年4回)
寄付額 39,000円



木のおもちゃ
赤ちゃんセット
寄付額 55,000円



オリーブ牛ロース
ステーキ 500g
寄付額 20,000円

寄付サイトのQRコード

楽天ふるさと納税 | ふるさとチョイス | さとふる

▶問い合わせ 財政経営課 ☎ 73-3010

ふるさと納税の寄付金は市内のさまざまな事業に活用しています。またお礼の品を通じて生産者や事業者にも還元されます。市外に住んでいるお知り合いにぜひ三豊市へのふるさと納税をおすすめください。

寄付の申し込みは「ふるさとチョイス」「さとふる」「楽天ふるさと納税」の寄付サイトからお礼の品を選んで手続きをしていただくか、財政経営課にお問い合わせいただければ申込書と郵便振替用紙を送付します。皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。